

活動報告

団体名	災害NGO 結
活動名	令和2年7月豪雨の被災地域の中間支援事業
活動期間	2020/07/04~2021/03/31
活動の成果	<p>■日田市：川湯の復活を後押しした事で、地元の方々の活気が出たように思える。自立を促すため、外部である私たちは少しずつ手を引き、大分県内の支援者が少しずつ増え、息の長い支援に結び付いたと考えられる。</p> <p>■久留米市：連携会議や研修会を通して、社協や行政、支援団体間のネットワークが強まった。またそこから「くるめ支援ネット#」が立ち上がり、平時から防災意識を高める活動や床下などの被害に対応出来る人材育成チームが出来た。</p> <p>■人吉市：ニーズ等の整理が出来ていなかった為、ニーズ総数の内訳並びに詳細を把握出来ていなかったが、メンバーが運営支援に携わることで、キャンセルもしくは完了か等、ニーズ表を一つ一つ確認し整理する事が出来た。</p> <p>VCの運営体制で、ニーズやマッチング等が見える化できておらず、組織内で共有されていない事や情報の漏れが多数あったためホワイトボードなどを使い残ニーズや優先ニーズなどを整理し、運営メンバー内で共有する事の重要性を見出した。連携会議を実施し行政・社協・NPOメンバー間で顔の見える関係になり、お互いが抱えている状況を共有する事で課題解決に結び付けるケースが生まれた</p>
寄付者へのメッセージ	<p>災害から再建、並びに復興までは、長い年月がかかります。発災直後は沢山の関心を集める被災地ですが、時間の経過と共に世間からの関心は薄くなってしまいます。関心がなくなっても、被災地は課題と向き合わなければいけません。新型コロナウイルスの蔓延で、あたりまえの生活が苦しくなっています。災害被害を受けた被災地は、さらに厳しい状態になっています。体ごとの移動はできない昨今ですが、遠方からでも「忘れない」はできます。ぜひ、関心を持ち続け、被災地を応援し続けてもらえたらと思います。</p>

(活動のようす)

